



News Release

DRAFT

03-D-

2003年12月 日

岡谷電機産業株式会社 (証券コード: 6926)

長期優先債務格付据置: 「BB+」(ダブルBプラス)

株式会社日本格付研究所(JCR)は、以下のとおり長期優先債務*の格付けを見直し、据え置きとしましたのでお知らせします。

* 長期優先債務とは債務の弁済順位において他の一般債務よりも劣後しない長期の期限付き債務をさします。個々の債券の格付けについては、劣後性、担保、保証の状況や財務特約条項の内容等によっては長期優先債務格付けと差が生じることもあります。

発行体: 岡谷電機産業株式会社

【据置】

(対象)	(格付)
・長期優先債務	BB+

【格付事由】

- (1) 1935年設立の電子部品メーカー。03/3期連結売上構成は、フィルムコンデンサなどノイズ・サージ対策用製品が69.7%、LED表示期など表示関連製品が30.3%。
- (2) 業績は回復基調にあり、04/3期連結経常利益は前期比ほぼ倍増の8億円を計画している。これは、コンデンサの販売数量増加、中国での生産体制確立や人員削減などのコストダウン、材料費圧縮などによるものである。特に、コンデンサは従来の主用途である携帯電話、パソコンの電源装置や、産業機械用インバータ制御回路などで回復が見られることに加え、家電製品のデジタル化進展により需要先が多様化、拡大してきており、数量面では堅調な推移が続く見通しである。
中期的にはコンデンサの伸長に加え、表示関連製品の採算改善や新規事業の拡大による収益力の向上を志向している。足元における新規事業の貢献度は限定的ながら、放電管技術を活かした殺菌・脱臭用UV管がエアコンに搭載されるなど実績が出始めている。
- (3) 03/9中間期の自己資本比率41.2%をはじめとし、財務面の諸指標は相応の水準を維持している。今後は運転資金負担の増加も想定されるが、現金や棚卸資産の圧縮などによる有利子負債削減が計画されており、財務構成は改善が進む見通しである。さらに財務面で安全性、安定性を向上させるには利益の蓄積などによる自己資本の絶対額の増加も求められる。

以上

(チーフアナリスト 島田 卓郎・シニアアナリスト 涛岡 由典)

当社の格付けは、投資家に対して信用リスク情報を提供するものであり、個別債券等の購入、売却、保有を推奨するものではありません。また、格付けは原則として発行者から対価を受領して行っております。

※無断コピー・転送は固くお断りします。

株式会社 **日本格付研究所**

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8
時事通信ビル

<情報提供電子メディア(検索コード)>

BLOOMBERG(和文:JCRA/英文:JCR) REUTERS(EJCRA)
QUICK(和文:QR/英文:QQ) TELERATE

<お問い合わせ先>

TEL:03-3544-7013 FAX:03-3544-7026 担当:情報部
<http://www.jcr.co.jp>